

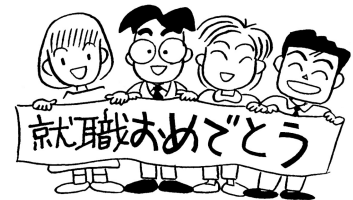
春

06年度新人教職員のみなさん ようこそ熊本大学へ。一緒に頑張りましょう



熊本大学へようこそ

いやあ、四月になったね。四月といえば初々しい新人教職員の皆さんだな。オイラも15年ほど前は「輝く未来に心躍らせて大学の門をくぐったんだな」なんて思い出します。とはいっても、今の現状に輝く未来がないといっているわけじゃなく、今でも現状は変えていけると思ってやっているんで、新人の皆さんも期待して働いていきましょうね。ただ、これから働き、その職場に慣れていくんですけど、あんまり悪い風習(職場風土)に染まらないでね。それこそ自分の将来に不安を抱きかねませんから。
良い職場風土はどんどん発展させていきましょうよ。



そうそう、今回の「やまくら～ズ」は、新人や非組合員の皆さんに組合員になってもらいたく、「組合がどういうものなのか」ってことを簡単に紹介しようかなって思いました。

組合って何なの??

組合は職場において「これは問題だ」「これはこうしてほしい」と使用者側(大学)と対等な立場で交渉することができる唯一の組織です。だから使用者は就業規則の改正、給与の改正などを組合と協議をしたうえ決めるとするのが一般的です。

そう、組合がなければ、使用者側が一方的に就業規則だって決められるのです。06年度の給与だって組合と交渉は持っているものの協議というにはほど遠く、使用者の一方的な提案が役員会を通過して示されています。それじゃ「組合って意味ないじゃん」なんて思われる方がおられると思いますが、組合が交渉しているということは、様々な改悪を阻止することもできるということです。現に交渉により、職種によっては労働条件の改善につながった職種もあります。交渉事全てがうまくいくというのが理想ですが、労働問題については少しずつでも前進していくことが大事なのです。すぐに結果を出さないといけない今の世の中じゃ、なかなか理解されないことなんだろうけどね。



だから、ワンマン経営みたいな使用者の悪態を監視し、是正していくためにも組合って必要なんですよ。みなさんも何も言わないままで、給与は下がるわ、忙しくなるでは、熊大で働いていても将来が不安になってくると思います。みなさん組合に入るとともに頑張りましょうよ。組合に入っているからといって、人事や評価に影響することはありませんし、冒頭にも書いたように「悪い職場風土はなくして、良い職場風土を発展させていきましょう」ともに。

そうそう「このやまくら～ズ」は組合青年部の不定期な機関紙です。今年はこれまで33号出ています。バックナンバーは熊大教職員組合ホームページ内に1号からありますので是非見てください。

<http://union.kumamoto-u.ac.jp/>

熊本大学教職員組合青年部機関紙
やまくら～ズ 発行 No.33 2006/04/06